

# IJCAD Electrical 2022

運用マニュアル



## 目次

---

<b>1. 運用マニュアル .....</b>	<b>1</b>
<b>1. IJCAD Electrical ができること .....</b>	<b>1</b>
AutoCAD Electrical との互換性について .....	1
IJCAD Electrical LT と IJCAD Electrical PRO の違いについて .....	1
<b>2. インストール時の注意点 .....</b>	<b>4</b>
IJCAD Electrical の bit 数の選択について .....	4
インストールユーザー以外で使用する場合 .....	4
<b>3. IJCAD Electrical の仕様.....</b>	<b>5</b>
IJCAD Electrical 使用上の注意 .....	5

\* \* \*

**改訂履歴**

2022.06.01 IJCAD Electrical 2022 運用マニュアル 初版発行

# 1. 運用マニュアル

## 1. IJCAD Electrical でできること

### AutoCAD Electrical との互換性について

IJCAD Electrical は AutoCAD Electrical の互換製品ではありません。

IJCAD Electrical は IJCAD に電気設計機能を追加した CAD になりますので  
ご注意ください。

### IJCAD Electrical LT と IJCAD Electrical PRO の違いについて

IJCAD Electrical PRO では IJCAD Electrical に備わっているすべての機能が  
使用できます。IJCAD Electrical LT ではデータベースに関連する機能以外を使用する  
ことができます。

IJCAD Electrical LT と IJCAD Electrical PRO では相互にデータのやり取りを  
行うことができます。

詳しい双方の機能内容は以下の表に記述します。

機能	LT	PRO
プロジェクトマネージャー	○	○
図枠配置	○	○
分割線編集	○	○
DB マネージャー表示	○ (外形図のみ)	○
シンボル配置	○	○
シンボル移動	○	○
シンボル複写	○	○

シンボル置換	○	○
フリーシンボル	○	○
端子台情報設定	○	○
属性編集	○	○
一括属性編集	○	○
パターンボックス	○	○
スペックホルダ	○	○
パターン配置	○	○
配線	○	○
複数配線	○	○
配線延長	○	○
線番配置	○	○
ケーブル定義	○	○
ツイスト線作成	○	○
シールド作成	○	○
ジャンプシンボル設定	○	○
線番編集	○	○
複相線番	○	○
一括線番削除	○	○
クロスリファレンス	○	○
スクート	○	○
ロケーションボックス	○	○
カタログ	○	○

図枠配置作成	○	○
表題欄作成	○	○
シンボル作成	○	○
帳票マスタ作成	○ (部品表、部品集計 表のみ)	○
接点表マスタ作成	○	○
プロジェクトの表題欄を更新	○	○
一括線番配置	○	○
線番削除	○	○
線番リセット	○	○
XREFLINK 更新	×	○
帳票出力	○ (部品表、部品集計 表のみ)	○
帳票編集	○ (部品表、部品集計 表のみ)	○
接点表作成	○	○
整合性チェック	×	○
ダイナミックブロック関連	×	○
ソリッド関連	×	○
レンダリング関連	×	○
カスタマイズ機能 (VBA/Lisp/SDS/GRX/DLL の読み込み)	○ (VBA は 32bit の み)	○ (VBA は 32bit の み)

拡張ツールおよび Plus ツール

○

○

## 2. インストール時の注意点

### IJCAD Electrical の bit 数の選択について

IJCAD Electrical では、**OS の bit 数と同じ bit 数の IJCAD Electrical** をご利用いただくことをおすすめしています。

なお、**IJCAD Electrical においては 32bit 版と 64bit 版を同じマシンで使用することはできません。**

IJCAD Electrical の 32bit 版と 64bit 版では、設定ファイルを置く場所として、共通のレジストリと AppData 以下のフォルダを使用しています。

そのため 32bit 版と 64bit 版の IJCAD Electrical を同じマシンにインストールすると、先にインストールしていた IJCAD Electrical の bit 数の設定が上書きされ、使用することができなくなります。

32bit 版か 64bit 版のうち、どちらか片方だけを選択してご使用ください。

### インストールユーザー以外で使用する場合

現在、IJCAD Electrical を、インストールしたユーザーアカウント以外で使用することができない状態になっています。お手数ですが、インストールしたユーザーでご使用ください。

## 3.IJCAD Electrical の仕様

### IJCAD Electrical 使用上の注意

#### プロジェクトの移動について

IJCAD Electrical でプロジェクトマネージャーに表示されているフォルダを別のフォルダに移動した場合、プロジェクトマネージャー上から表示されなくなってしまいます。

もし移動される場合は、移動後のフォルダを「プロジェクトをインポート」してご使用ください。

#### プロジェクトの名前変更について

IJCAD Electrical でプロジェクトマネージャーに表示されているフォルダの名前を変更した場合、データベース上と差異が発生してしまいます。

プロジェクトマネージャー上では名前変更前のファイル名が表示されるため、ページが読み込めなくなってしまいます。

ファイルの名前を変更する場合は、プロジェクトマネージャー上で、右クリックメニューの「名前変更」を使用してください。

また、直接フォルダ名を変更した場合、変更したフォルダを「プロジェクトをインポート」してご使用ください。

#### 他 CAD での DWG 読み込みについて

IJCAD Electrical で作成した DWG ファイルを他の CAD で変更し保存した場合、IJCAD Electrical 上のデータベースと整合性が取れなくなる場合がございます。

他 CAD で IJCAD Electrical で作成した DWG ファイルを読み込む場合、ファイルをコピーして使用し、IJCAD Electrical で作成した DWG ファイルは変更しないようお願いいたします。

## IJCAD Electrical 2021 との互換性について

IJCAD Electrical 2022 では IJCAD Electrical 2021 で作成された図面を読み込み、使用することができます。しかし、IJCAD Electrical 2022 で作成された図面は IJCAD Electrical 2021 では読み込めませんので、ご注意ください。

## IJE タブと IJEConfig タブのコマンドについて

IJE タブに存在するコマンドは基本的に**プロジェクトマネージャー内でページ設定された.DWG ファイルでのみ**使用できます。通常の.DWG ファイルではコマンドが動作しないのでご注意ください。

また、IJEConfig コマンドは基本的に**通常の.DWG ファイルでしか使用できません**。ページ設定された.DWG ファイルでは使用できませんのでご注意ください。

## コピー・貼り付け・削除

線番の重複、属性が影響するため、IJCAD Electrical 専用のコピー・貼り付け・削除が存在します。（ExtCopyClip,MoveSymbol,SymbolDelete コマンド）

コピー・貼り付け・削除が必要な場合は、IJCAD の基本機能（COPY,PASTE,ERASE コマンド等）ではなく、IJCAD Electrical 専用のコピー・貼り付け・削除をお使いください。

なお、ショートカットキーの Ctrl+C、Ctrl+V、Delete キーには IJCAD Electrical 専用のコピー・貼り付け・削除が設定されています。

## 一括処理について

一括属性編集や一括線番配置等、自動処理を行う際には、一度全図面保存を行ってから実行してください。

図面が保存されていない状態で実行すると、保存されていない内容に関しては処理がされず、整合性が取れなくなる可能性があります。



## オブジェクトスナップについて

オブジェクトスナップを付けたまま作図をすると、想定していない場所をスナップし、作図してしまう場合があります。

オブジェクトスナップ・スナップモードを切り、グリップスナップの切り替えで作図を行うことをお勧めいたします。

## 配線と線分の違いについて

IJCAD Electrical では配線として設定された線分に対してのみ線番配置やシンボルの隠線処理を行うことができます。

配線を作成する際は、通常の線分コマンド (LINE) ではなく、配線コマンド (InsertSegment) をご使用ください。

## 線番配置時とシンボル配置時のコマンドラインでの表記について

IJCAD Electrical では線番・シンボルをブロックとして表現しています。その関係で、既に同じ名称のブロックが定義済みの場合に、「ブロック ○○○○○○○ の重複する定義が無視されました。」というメッセージがコマンドラインに表示される場合がありますが、動作自体に支障はありません。